



2017.11
**がん哲学外来
 ナース部会**
 ニュースレター VOL. 11

がん哲学外来伊香保シンポジウムを開催して

群馬大学附属病院 がん哲学外来ナース部会副代表 高山千春

敬老の日である2017年9月18日に群馬県伊香保温泉福一ホテルにおいて、検事総長、東京女子大学理事長を務められた原田明夫氏の追悼記念「がん哲学外来伊香保シンポジウム」を開催しました。当日は幸運にも台風は過ぎ去り良い天気にも恵まれました。伊香保温泉は、新渡戸稲造が一時期保養していたといわれており、がん哲学外来にゆかりのある地と言えます。

当日は樋野先生に基調講演をして頂きました。パネルディスカッションには群馬県内のがん哲学外来・カフェを主催する方々に日頃の活動について発表頂き、『人生の邂逅(かいこう)～不連続の連続性』というテーマで意見交換を行いました。県内のがん哲学外来・カフェ主催者が集まるということはありませんでした。試みのようで、なかなか好評でした。

伊香保温泉にある石段は一年365日と同じ365段ありますが、その石段を登りつつ日々大切に過ごすことが出会いと成長につながると感じられました。温泉と観光もあり、人生の思い出に残るシンポジウムとなりました。



**第五回シンポジウム がん哲学外来カフェ メディカル・ビレッジ
 in 嬬恋村に参加して**

目白がん哲学外来 がん哲学外来ナース部会 森 尚子

H29年9月9～10日、万座温泉日進館の宿泊シンポジウムに参加しました。

万座への旅は新宿駅からの日進館送迎バスによる快適なものでした。マスター市村さんの笑顔のお迎えに和むひと時のあと、散歩に出かけました。標高1800mの大自然の中、野うさぎとの出会いや可愛いお花に癒されました。万座温泉には世界でも稀な特徴があります。高地にあるうえ、源泉100%の酸性硫黄泉です。周辺の土は多量の栄養素(ケイ素等)を含んでいます。この土で育ったお野菜を、朝夕のバイキングで美味しくいただきました。

「一人の人間を癒すためには、一つの村が必要である」という理念のもと、「医療の協働体」を目指して、住民有志・自治体・医療機関等の連携が始まっています。「外来カフェ」から「メディカルビレッジ」へ、「訪問型」から「滞在型」へ、病気であっても病人でない社会へ、という取り組みが、万座の地で一步を踏み出しているのです。日本初の「メディカルビレッジ」実現に向け、がん哲学外来看護部としての関わりを進め、学びを深めたいです。

樋野先生のお誕生日を記念して、来年3月7～8日、第6回シンポジウムが開催されます。たくさんの方々にメディカルビレッジへの取り組みを知っていただきたいです。天空の最高の温泉が、皆さんをお迎えすることでしょう。



がん哲ナース募集中・HPよりお申込みください

がん哲学外来ナース部会HP：<http://gantetsuns.jimdo.com/>
 ナース部会ブログ：<http://blogs.yahoo.co.jp/gantetsugakugairains>

がん哲学外来ナース部会 (一般社団法人がん哲学外来内)
 顧問：一般社団法人がん哲学外来理事長 樋野興夫 / 編集 上杉有希